

美々津中学校通信

4月号

R6. 4. 1

発行者校長



美々津中HPへ

卒業生が伝えてくれたこと 仲間とのつながり

三月十六日(土)令和五年度第七十七回卒業式が挙行されました。コロナ禍明けで久しぶりに制限なしの卒業式となりました。その中で、答辞を述べた生徒会長の海野結愛さんの言葉が胸に響きました。

海野さんは、一、二年生の頃を振り返りに迷惑をかける場面も多かったけれど、三年生になり、少しずつ成長した自分たちになったことを涙ながらに述べてくれました。その上で、三年生はすべてが最後の行事となる中、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」といったことが、自然と振る舞えるようになり、いつしか集団からチームへと変わっていくことができたと話してくれました。特に、受験期においては様々な動揺に襲われる中、仲間のことを考えながら受験に立ち向かうことができたとも述べてくれました。



この答辞を聞きながら、下級生、来賓、保護者、そして職員も涙があふれ、その後の、卒業式の歌(旅立ちの日に・越えていけ)では、響く合唱とともに場内は涙と感動の渦に包まれました。

つまり、海野さんは、三年間を振り返り、最初はただの集団でバラバラだった学級が、様々なトラブルを乗り越えながら、心の通ったつながりのあるチームへと生まれ変わったというのです。そこには、いつしか「絆」ができていたということですね。

卒業生(三年生)が卒業式で下級生に伝えてくれたこと、それはまさしく「仲間とのつながり」の大切さだったのではないのでしょうか。最初は平凡な友達に過ぎなかった関係から、一つの目標に向けて心を一つにし支え合いながら築き上げたつながりは、どんな困難も乗り越えていけるほど強固なものになります。一人ではできなくても、この強いつながりがあれば、何にでも立ち向かっていけるのではと思わせます。この財産ともいえる「つながり」を築いて見せた卒業生、まさにこれから美々津中学校生が向かうべき道標を与えてくれたと思います。ありがとう、卒業生、そしてあなたたちが後輩たちが必ず続きます。

東日本大震災を忘れない

三月十一日(月)を迎える一週間前を「3・11東日本大震災について考える」週間と題して、給食の時間に校長が朗読を行いました。朗読の内容は、震災を経験した当時の中学生が震災について書いた作文です。生々しい震災の様子が綴られ、改めて地震・津波の怖さが語られていく内容です。この朗読を通して、地震・津波に対する備えの重要さだけでなく、「命」や「生きる」ことの大切さを改めて考えてくれたらと思います。朗読という形で行いました。



クラスマッチ盛り上がる

三月八日(金)、クラスマッチが行われました。本校は、一学年1クラスのため、学年対抗で実施します。今年の種目は、バレーボールとバスケットボールの2種目で競われました。バレーボールは各学年2チーム、バスケットボールは各学年3チーム出場し、学年対抗で勝敗を決しました。総合ポイントで優勝を争いました。結果的に、バレーボール、バスケットボールともに三年生が圧倒し、優勝しました。

やはり、三年生は「強し」でした。しかし、様々な場面で見所もあり、中には下級生が素晴らしいプレーを見せる場面も見られ、大いに盛り上がりました。

■バレーボール

○3年 — 2年

○2年 — 1年

1年 — ○3年

■バスケットボール

○3年 — 2年

2年 — ○1年

1年 — ○3年

(3年生が総合優勝)



学校評価結果をもとに次年度の教育課程を編成

令和五年度の学校評価がこのほどまとまりました。学校評価の方法は、まず学校長の学校経営ビジョンに基づいて、教職員・保護者・生徒により評価アンケートを行い、それを分析・精査して学校の自己評価とします。この自己評価をもとに、学校運営協議会委員の皆さまに協議していただき、最終的に学校評価としてとりまとめます。同時に、学校評価をもとに、学校長の経営ビジョンを踏まえ、次年度の教育課程（教育計画）を作成し、学校運営協議会で承認していく流れとなります。

今回の学校評価の内容は、主に次のような結果となりました。

- ◆自己評価、学校関係者評価ともに評価が高かった項目
- ・「時を守り、場を清め、礼を正す」姿勢の醸成
- ・災害や事故から身を守るための知識・技能・心の教育
- ・体力の向上と健康教育の充実
- ・学校安全の徹底と環境整備
- ◆自己評価、学校関係者評価ともに評価が低かった項目
- ・社会性の習得と規範意識高揚
- ・豊かな心の醸成
- ・小中一貫教育（グラウンドデザイン）の実施

（学校評価結果は学校のホームページにアップしています。）

この結果を踏まえ、学校では次年度の教育課程を編成しました。行事や授業をどのように編成することで課題を克服できるか検討し、練り上げました。

3/29 離任式

三月二十九日（金）、令和五年度の離任式が行われました。

この度の定期異動により本校職員8名が転出・退職することになりました。勤務年数はそれぞれ1年から6年と違いますが、本校で生徒たちのために、一生懸命尽力していただきました。生徒たちも先生方から学んだことを今後の人生に必ず活かしてくれるものと思えます。

8名の先生方の今後の新天地での活躍をお祈りしています。

式では、転出される先生方のあいさつの後、生徒を代表して、生徒会副会長の安藤愛空さんが、「これまでの先生方からの学びをこれからの学校生活に活かしていきます。先生方もがんばってください。」と述べ、お別れのあいさつをしました。

退場の際には、全校生徒でトネルをつくり、別れを惜しみながらも、盛大に見送ることができました。また、これまでお世話になった卒業生も数名駆けつけ、当時の思い出話を話ながらお別れを惜しんでいました。

- 土谷敬子教頭先生（諸塚中へ）
- 古賀 誠夫先生（日向中へ）
- 中村詩律香先生（大王谷学園へ）
- 黒木 由美先生（ご退職）
- 小田 純子先生（東郷学園へ）
- 濱川多眞美先生（日向中へ）
- 黒木 貞子先生（ご退職）
- 黒木 裕子先生（ご退職）



部活動計画

- ◆軟式野球部
 - 4月13日（土）練習試合（対大王谷・妻中 川中島球場）
 - 4月20日（土）県北大会（対美郷南・諸塚合同 大王谷球場）
 - 4月27日（土）県北大会準決勝・決勝（大王谷球場）
- ◆女子バレー部
 - 4月13日（土）練習試合（未定）
 - 4月20日（土）・21日（日）練習試合（美中体育館）
 - 4月27日（土）夕刊デイリー杯（北郷地域交流センター）
- ◆女子ソフトテニス部
 - 練習試合（未定）
- ◆卓球部
 - 4月28日（日）県北大会（延岡アリーナ）

★新年度に入り、1年生も加わり、新たな雰囲気地区総体に向け、がんばっていきましょう。

【行事予定】

- 4月 1日（月）辞令交付
春季休業（→7日）
- 4月 8日（月）始業式・新任式
- 4月10日（水）入学式準備
- 4月11日（木）第78回入学式
- 4月12日（金）身体計測・清掃・安全指導・自転車点検
- 4月15日（月）県数テスト
新入生刈り上げ
- 4月16日（火）避難訓練（地震）
- 4月18日（木）全国学力テスト
家庭訪問（→25日）
- 4月24日（水）全校専門委員会
中央委員会
- 4月26日（木）集会活動
- 4月29日（月）祝 昭和の日